

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

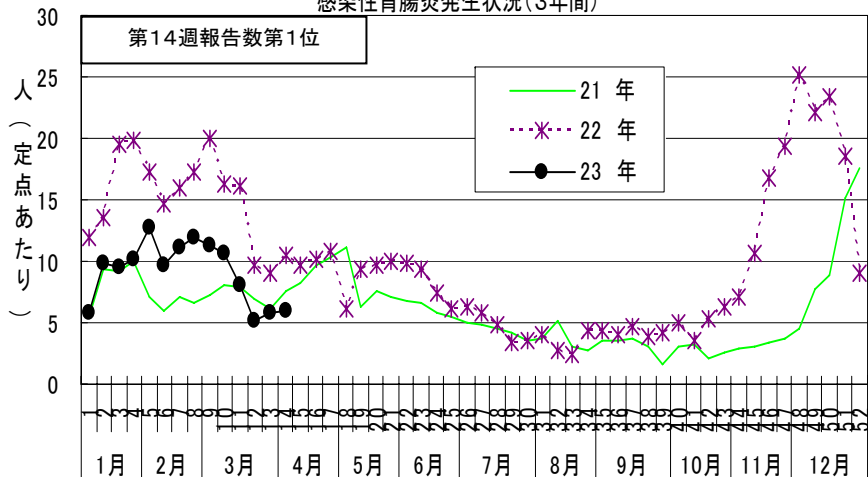


KAWASAKI CITY

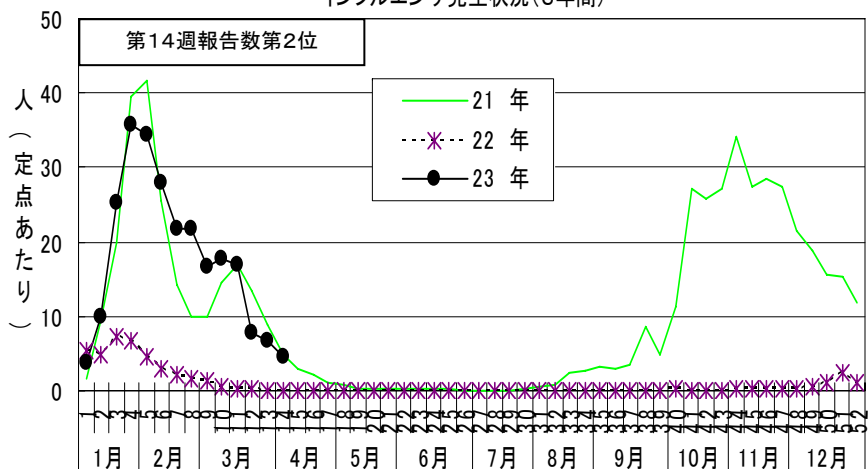
平成23年4月4日(月)～4月10日(日)〔第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)水痘でした。
 感染性胃腸炎は定点あたり5.82人と前週(5.76)より患者報告数は増加していますが、過去10年間の同時期と比較すると、最も少ない報告数となっています。
 インフルエンザは定点あたり4.43人と前週(6.70)より患者報告数は減少していますが、過去10年間の同時期と比較すると、平成19年及び平成21年に次いで3番目に多い報告数となっています。
 アメーバ赤痢の発生届が2件(推定感染経路①経口感染②性的接触、推定感染地域①北朝鮮②川崎市)ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



～ポリオ(急性灰白髄炎)予防接種(春)～

川崎市では、春と秋に、ポリオの予防接種事業を実施しています。新年度を迎え、保育園等で新たな集団生活が始まる時期ですので、対象の方はこの機会に予防接種を受けましょう。

川崎市ポリオワクチン接種情報

※予防接種に関するお問い合わせは各区役所保健福祉センター地域保健福祉課へ御連絡ください。

接種時期

春と秋に実施しています。日程については、春は4月から6月にかけて実施しますが、詳細についてはお問い合わせください。受付時間は午後1時から午後2時50分までです。

注意事項

BCG、麻しん・風しんの予防接種から27日以上、ジフテリア・百日せき・破傷風の3種混合、日本脳炎予防接種から6日以上あけてください。

対象者

生後3か月から7歳6か月に至るまでの間にある方で2回接種の済んでいないお子さんが対象です。

昭和50～52年生まれの方は、ポリオの免疫保有率が低いことから、お子さんと一緒に予防接種を受けることができます。御希望の場合は事前に各区役所地域保健福祉課までお問い合わせください。

症状は!?

ポリオはウイルス感染から発症までの潜伏期間は3～21日間(通常7～12日間)です。感染しても、90～95%の方は無症状でおわり、一生抵抗力(終生免疫)が得られます。

症状が出る場合でも、ほとんどが風邪のような症状でおわる一方で、感染者の0.1%～2%が定型的な麻痺を起こします。麻痺症状が進行し、呼吸困難により死亡することもあります。

予防接種を受けた人から接種後2～4週間にわたってウイルスが便やよだれの中に排出されます。このウイルスが、免疫を持っていない人(ワクチン接種していない人など)に感染(2次感染)することが極めてまれにあります。

そのため、オムツ換えなどの後には、十分に手洗いをするなど注意してください。

